



2011年9月19日

国際青年環境 NGO A SEED JAPAN

「エシカルな鉱物・金属調達に関する公開質問状 2011」へのご回答のお願い

拝啓

時下、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

国際青年環境 NGO A SEED JAPAN では、昨年6月に「メーカーの責任ある鉱物・金属調達に関する公開質問状」をメーカー70社にお送りし、17社から回答を頂くことができました。ご回答いただいた皆様には、ご協力いただき誠にありがとうございます。

また、昨年7月からは、国際環境 NGO FoE Japan、アムネスティ・インターナショナル日本、FLAT SPACE と共に、「エシカルケータイキャンペーン」を開始しました。

エシカルケータイキャンペーンは、鉱物を採掘する過程で起きている環境・社会問題についての認知を広め、製品を通じて採掘問題を解決することを目指しており、以下のことに配慮して採掘された鉱物を使った製品を「エシカル」と考えています。

- ✓ 野生の生物を傷つけず、貴重な生態系を壊さない
- ✓ 先住民族・居住者の生活や土地を尊重する
- ✓ 児童労働や、劣悪な環境での労働を行わない
- ✓ 武装勢力の資金源となり、紛争を助長しない

また、エシカルな金属調達・製品作りについての賛同を募っており、昨年7月の開始以来、723名および6団体の賛同をいただいています。(エシカルケータイキャンペーンについては別紙参照)

採掘問題に関する国際的動向

採掘産業は、鉱山開発・操業のため、居住する先住民を移住させ、森林を伐採し、大規模な露天採掘ピットやテーリングダムを建設するなど、地域社会、自然環境及び生態系などに大きな影響を与えやすいという性格を持っています。そしてそれらの影響を緩和するために国際的にもさまざまな取組が行われています。

そんな中、非常に強い影響力を持っているのが、昨年7月にアメリカで成立した「金融規制改革法 (Dodd-Frank Wall Street Reform and Consumer Protection Act of 2010)」であり、この中に「紛争鉱物 (Conflict Minerals)」に関する条項が入っています。現時点では、すず、タンタル、金、タングステンの4種類を紛争鉱物と規定し、使用するメーカーと採掘産業に対して情報公開を求めています。メーカーは、「紛争鉱物」がコンゴ民主共和国あるいは隣接国(コンゴ民主共和国等)原産であるか否かについて情報公開をし、米国証券取引委員会 (Securities and Exchange Commission、以下 SEC) に対して報告する義務を負います。もしコンゴ民主共和国等産であった場合、紛争に寄与していないことを裏付ける調査と、その調査の第三者監査を義務付けられます。また、採掘産業は各国政府に対して支払った経費一覧(許可申請費、採掘税等)を公開する義務を負います。なお、具体的には SEC が開示規則案を定めることとなっています。

SEC は昨年12月15日に開示規則案をパブコメ版として公開し、意見募集を行いました。また、報告書の添付文書として作成・提出することになっている「紛争鉱物報告書」に関連して、昨年12月22日に OECD がガイダンス「紛争及び高リスク地域からの鉱物についての責任あるサプライチェーンのための OECD デュ

ーデリジェンス・ガイドンス」を公表するなど、関連した動きも活発です。

NGOの活動としても、採掘に関する問題は以前から取り上げられており、2001年から国際的なNGOの連合体で”No Blood on My Mobile”キャンペーン、欧州のNGOの連合体による電子機器にフォーカスしたMakeITFairキャンペーンなどが行われ、毎年のように調査報告書も出されています。MakeITFairでは、本年7月に紛争鉱物の法規制に関する円卓会議も開催しています。

また、米国では、大量虐殺と人間性に対する罪を終わらせるためのEnough!プロジェクトが金融規制改革法の紛争鉱物条項について大きな役割を果たしました。

しかし、これらの取り組みが行われている一方で、未だに人権・環境・地域コミュニティに甚大な悪影響をもたらす採掘企業も多く、その改善にはさまざまなステークホルダーの実動が必要不可欠です。

鉱物・金属調達における責任

私たちは、普段使用している携帯電話や小型家電その他の製品に、環境・社会問題を引き起こしている、あるいは助長している鉱物・金属が含まれていることを懸念しています。そして、これらの製品を製造するメーカーには、鉱物・金属を調達する際に問題のある鉱物・金属を使用しないように努める責任があると考えています。また、エシカルな金属調達のためには、メーカーだけでなく、鉱物・金属調達に関わるサプライチェーン上の企業が、協力して取り組む必要があります。

そこでこの度、鉱物・金属調達の際の環境・社会配慮などに関してお聞きしたく、メーカー、商社、鉱業各社に本質問状をお送りします。

頂いたご回答は、A SEED JAPAN の Web サイトで、社名を含めご回答を頂いた形のままで公開させていただきます（ご回答がなかった場合も未回答ということで公開させていただきます）。ご多忙の折、大変恐縮ですが、**10月11日（火）までに、E-mail または Fax、郵送にてご返答ください。**このアンケートのワードファイルは、A SEED JAPAN の web サイトにありますので、ダウンロードしてご記入ください。

ダウンロードサイト：http://www.aseed.org/metal_questionnaire2011

何卒ご回答のご協力をよろしくお願い致します。

なお、Enough! プロジェクトのメンバーを招聘してのフォーラムを今秋に予定しています。決まりましたらウェブサイト等でご案内しますので、ぜひご参加ください。

敬具

－ 同封物 －

- ・「エシカルな鉱物・金属調達に関する公開質問状 2011」へのご回答のお願い（本紙）
- ・「エシカルな鉱物・金属調達に関する公開質問状 2011」及び回答票
- ・別紙 1 エシカルケータイキャンペーンについて
- ・別紙 2 A SEED JAPAN について
- ・エシカルケータイキャンペーンリーフレット

本件に関する返答先および連絡先（担当：加治、片山、岸田）：

国際青年環境 NGO A SEED JAPAN エシカルメタルプロジェクト

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-4-23 Tel : 03-5366-7484 Fax : 03-3341-6030

Email : ethicalmetal.asj@gmail.com Web : <http://www.aseed.org/project/ehical-metal/>